

腐食に係る安全性評価について

腐食性試験の結果から安全性を評価する考え方

安全性評価について(案)

- 腐食性試験結果の整理
 - 燃料サンプルと材料の組合せマトリクスにおいて、どこで腐食性がみられるか整理
- 腐食性に関する評価
 - 資料7「試験結果の判断」に従って腐食性・腐食傾向について評価
- 腐食の影響が及ぶ自動車部品・部材の精査
 - 他方、アルコール成分から腐食の影響を受ける材料が、自動車を構成するどの材料において使用されているか精査
- 腐食が自動車に与える影響について検討
 - 当該材料において腐食が発生した場合、どのような影響が自動車で誘発されるかシミュレーション
- 安全性評価
 - 腐食の可能性が認められる場合
 - 腐食が自動車に与える影響について検討した上で、次の考え方の下に安全性を評価。
 - 一般ユーザーに対する危害の予防原則
 - 一般ユーザーの安全確保の観点からは、現段階の技術水準において危害の可能性が認識され、事故の回避が可能な場合には、その回避措置をとるべきであると考えられる。
 - 製造業者等による開発危険の抗弁の必要性
 - 一般ユーザーに対する危害を予防する観点から、腐食が自動車に与える影響により、自動車の安全性を侵害する可能性が認められる場合には、科学的合理性をもった検証によって十分に安全であることが示されないかぎり、既存のガソリン車に使用を続けることは、安全上の観点から不適切であると考えられる。
 - 腐食の可能性が認められない場合
 - 次の検証プロセスに進む。

